

パワーウォーター S-126®

エアコン洗浄クリーナー(業務用)

自動車エアコン使用方法

注)自動車エアコンの洗浄は、整備士および専門職従事者の方以外は絶対に行わないでください。

- ①グローブボックスをはずします。
 - ②フィルター付車種はフィルターをはずし、内気導入口を露出させます。
 - ③導入口とその周辺のコホリを掃除機等で吸い取ります。
 - ④導入口下部、フロアーヘタオル、新聞紙等を敷き、液垂れの保護をします。
 - ⑤エンジンを掛け、エアコンOFF、風量はMAX、最低温度、内気循環、噴出し位置は正面に設定します。
 - ⑥スプレー先端へ付属の専用ノズルを確実に取り付け、缶をよく振ります。
 - ⑦導入口へノズルを差し込み電装部に十分に注意し、エバポレーター方向へ広範囲にスプレーします。
 - ⑧適量スプレー後、ドレンホースからの排水(汚水)状態を確認します。
 - ⑨汚水状態により必要に応じ全量をスプレーします。
 - ⑩10~15分そのまま放置します。
 - ⑪フィルターを取り付け、グローブボックスを取り付け、完了。
- ※窓やドアを開けた状態で作業を行ってください。※スプレーの際は出来るだけ広範囲に均等に噴霧して下さい。一箇所に集中すると水滴になり、ブローアファン部からの液垂れを起こします。
- ※スプレー先端ノズルがブローアファンに触れないように注意してください。
- ※故障の原因となりますので電装部の配線にはかからない様十分にご注意ください。
- ※フィルター付車種は、同時のフィルター交換をお勧めします。
- ※ドレンホースがない車種はご使用になれません。
- ※各自動車メーカー、車種、年式ごとにエアコンの構造が異なりますので、メーカー仕様書等で十分に調査の上、ご使用下さい。

用途

一般家庭用エアコン・自動車エアコンの内部・アルミフィンの洗浄・除菌・消臭

注意事項

- ①吸入及び飲用しないで下さい。
- ②用途以外に使用しないで下さい。
- ③幼児の手に届く所に置かないで下さい。
- ④顔など皮膚に付着した場合は十分に洗い流して下さい。
- ⑤故障の原因となるので電装部にはかけないで下さい。

廃棄する際には、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して下さい。



応急処置

- ①万一、飲み込んだときは水を飲ませて下さい。
- ②誤って目に入った時はすぐに流水で洗って下さい。
- ③いずれの場合も必要に応じ医師に相談して下さい。

火気と高温に注意

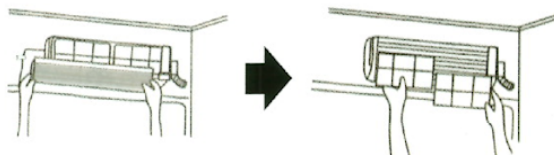
高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること

- ①炎や火気の近くで使用しないこと
- ②火気を使用している室内で大量に使用しないこと
- ③高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所やストーブ、ファンヒーターの近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと
- ④火の中に入れないこと
- ⑤使い切って捨てること

高圧ガス：DME

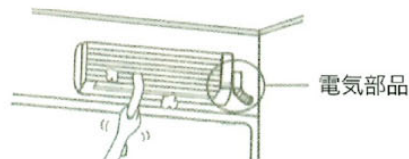
一般家庭用エアコン使用方法

- ①電源が切れていることを確かめ、コンセントを抜いて下さい。
- ②エアコンの取扱説明書をよく読んでから、外装パネルとフィルターなどを取り外しアルミフィンを露出させて下さい。

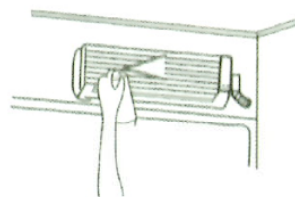


※フィルターの下にあるアルミのかさなったものがアルミフィンです。

- ③アルミフィン表面のコホリを、フィンを曲げないように掃除機などで吸い取って下さい。
- ④電気部品は、ビニール袋で保護して洗浄液がかからないようにして下さい。
- ⑤エアコン下部(床)ヘタオル、新聞紙等を敷き、液垂れの保護をします。



- ⑥エアゾール缶を強く上下に振ります。
- ⑦アルミフィンから5cmほど離して、フィンの向きに沿ってまんべんなくスプレーします。1台1本中身がなくなるまで吹き付けてください。
- ⑧汚水はドレンホース(配水管)より流れ出ます。



- ⑨洗浄後約10分してから、外装パネル、フィルターを取り付けてください。

